## 奈良県立病院機構 平成30年度業務実績に関する評価結果(案)

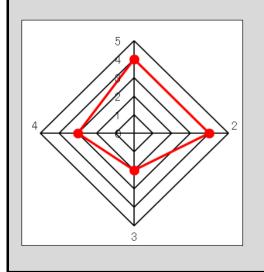
# ■ 項目別評価 大項目

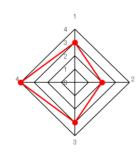
### H30年度評価

全体として、中期目標・中期計画の達 成に向けて概ね順調であると認められ るが、「最高レベルの医の心と技をもつ た人材の確保、育成」については、な お一層の努力が必要、「自立した経 営」については、引き続き努力が必要 である。

大項目4項目のうち、

- O2項目(「I <u>患者にとって最適な医</u> 療の提供」「Ⅱ県民の健康維持へ の貢献」)は、中期目標・中期計画の 達成に向けて「順調に進んでいる」と
- ○1項目(「Ⅲ 最高レベルの医の心と 技をもった人材の確保、育成」)は、 職員満足度が中期目標最終年度の目標 を達成せず、課題の把握・検証を行い 改善を図る必要があることから 「やや遅れている」と評価
- ○1項目(「Ⅳ自立した経営」)は、経常 収支が昨年度より低下したものの、奈 良県立病院機構改革プランを上回る 状況。また、職員の中期目標・中期計 画の理解度が改善を図る必要がある。 引き続き各取組を進める必要がある ことから「概ね順調に進んでいる」と 評価



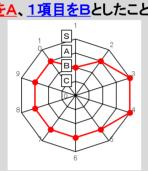


患者にとって最適な医療の

### H30年度評価

Ⅳ 中期目標・中期計画の達成 に向けて順調に進んでいる

中項目10項目中、2項目をS、 7項目をA、1項目をBとしたこと を勘案



- Ⅱ 県民の健康維持への貢献
- Ⅳ 中期目標・中期計画の達成 に向けて順調に進んでいる 中項目5項目中、4項目をA、 1項目をBとしたことを勘案



- 最高レベルの医の心と技を もった人材の確保、育成
- Ⅱ 中期目標・中期計画の達成 のためにはやや遅れている

中項目2項目中、<u>1項目をA</u>、 1項目をBとしたことを勘案

- Ⅳ 自立した経営
- Ⅲ 中期目標・中期計画の達成 に向けて概ね順調に進んで いる

中項目4項目中、<u>1項目をS</u>、2 項目をA、3項目をBとしたことを

	_									
1		中項目	取組項目		評価実績 H26 H27 H28 H29				県評価	   考慮した主な目標指標・取組
		全職員が一体となって 1 中期目標を達成	① 中期目標の達成に向けて、全職員が一体となって取り組む組織文化を醸成		H27	H28	H29 В	H30 B	H30	  ・職員の中期目標・中期計画の <u>目標未達成</u>   (30目標:100%を目指す→30 <u>60%</u> )
		2 患者が満足する医療 サービスの提供	① ホスピタリティマインドの向上 ③患者が治療に専念できる環境の充実 ② 患者に対する適切な医療情報の提供	Α	А	Α	Α	Α	Α	・患者満足度「 <u>病院への満足</u> 」が <u>高水準を維持</u> (入院②96%→③ <u>92.6%</u> 、外来②79%→③ <u>78.4%</u> )
;	Ī	3 断らない救急の実現	<ol> <li>受入体制の構築</li> <li>人材の確保、育成</li> <li>原内後方支援・連携体制の整備</li> </ol>	Α	Α	Α	Α	S	S	・ <u>救急車搬送受入率が総合で上昇(県内最高)</u> (総合②93.3%→③ <u>94.4%</u> 、西和②73.2%→③ <u>74.1%</u>
	4	4 質の高いがん医療	① 手術療法、放射線療法、化学療法 3 地域がん診療連携拠点病院として などのがんの集学的治療の提供 3 の機能の発揮 2 早期がんだけでなく他病院で診る ことができない進行がんにも対応 ④ 人材の確保、育成	Α	А	А	Α	S	S	<ul> <li>(総合)院内がん登録患者数(年間)が増加 (②1,272人→③1,655人)</li> <li>(総合)放射線治療装置を2台に増設</li> <li>(西和)低侵襲消化器がん治療センターの専任センター長の配置による体制の強化</li> </ul>
	П	5 周産期医療体制の強化	① 24時間365日のハイリスク妊産婦・新生児の搬送受入を可能とする体制の強化 ② 西和医療センターにおける産科の再開	s	А	Α	Α	Α	Α	・ <u>ハイリスク妊婦及び新生児の県内搬送率</u> が <u>高水維持</u> (妊婦299.6%→3097.1%、新生2099.3%→30 <u>99.3%</u> )
		6 小児医療体制の整備	① 小児救急機能の強化 ③ 地域の他病院との連携の強化 ② 人材の確保、育成	Α	Α	Α	Α	Α	Α	・ <u>小児患者の救急搬送受入率</u> が <u>維持・上昇</u> (総合②93.9%→③ <u>94.4%</u> 、西和②89.4%→③89.0%
		7 リハビリテーション機能 の充実	① 急性期については総合・西和において、回復期にかけてはリハにおいて役割を担当 ② 発達障害児に対する感覚統合療法の充実 ③ 障害児(者)に対する外科的治療の充実	Α	Α	А	Α	Α	Α	・(リハ)在宅復帰率が <u>上昇</u> (②88.6%→③ <u>90.1</u> %) ・ <u>運動器リハ実施件数</u> が <u>増加</u> (②82,564件→③ <u>86,3</u> 0
		8 高齢者を対象とした医療 体制の整備	① 【運動器】法人内の病院における役割分担 ③ 【糖尿病】人材の確保、育成 ② 【糖尿病】チーム医療の活動強化 ④【糖尿病】地域の医療機関へのサポート	Α	В	А	Α	Α	Α	・(西和)人工関節センターの運営・(リハ)ロコモシンドローム公開講座を開催(3回)
		9 医療安全・院内感染の 防止	① 法人における医療安全管理体制の確立 ② 3病院合同の事例検討発表会の実施	Α	А	А	Α	Α	Α	・患者満足度「安心して医療を受けられたか」が <u>上昇</u> (入院2992%→3093%、外来2982%→3084%)
		10 新病院整備の推進	<ul><li>① 新総合医療センターの整備</li><li>② 新西和医療センターの整備等</li><li>② 新西和医療センターの整備等</li><li>④ 3病院共通の電子カルテシステム整備</li></ul>	В	В	В	Α	Α	Α	・ <u>新総合医療センター</u> が <u>H30.5開院</u>
	; 1	<b>国内の医療機関との</b> 連	① 地域医療支援病院としての機能強化 ② 地域気圧支援センターとの連進強化							/・紹介率・逆紹介率は、総合は維持・上昇、西和は (紹介率:総合②60.2%→③73.3%、西和②58.7%→③71

ŀ	』 県内の医療機関との連	↑ 1 地域医療支援病院としての機能強化 ③ 地域包括支援センターとの連携強化
	' 携・協力体制の充実	② 退院調整会議の充実
	。県内の医療レベル向上	① 教育研修センターにおいて県内の医療機関に開放した研修の実施
ı	2 に向けた支援	② 県内の医療機関への施設・設備の開放
	3 災害医療体制の強化	① 災害対応体制の充実 ③災害発生時における県との円滑な連携
	3 火音医療体制の強化	② 人材の育成 ④新病院における感染症病床の整備、受入体制の構築
	4 県民への医療・健康情	① 臨床指標を含む情報の公開・発信 ③ 公開講座の実施
	4 報の提供	② 広報担当者の配置
	_ 県が実施する健康長寿	① 平松周辺地域でのまちづくりへの参画
	5 のまちづくりへの支援	② 西和地域でのまちづくりへの参画

最高レベルの医の心を もった人材の確保、育成	<ul><li>① ホスピタリティマインド醸成研修の実施</li><li>② ワークライフバランスの実現</li></ul>	Α	А	А	В	В
最高レベルの医の技を	① 教育研修センターの設置と充実	^	_	_	>	^
もった人材の確保、育成	② 看護専門学校の教育内容、教育体制の充実	Α	A	A	^	

1	権限と責任を明確にしたガ バナンス体制の確立	① 経営企画機能の強化 ② 中期計画・年次計画の適正な実施	Α	В	Α	Α	Α	•
2	経営に対する責任感を もって業務改善に取り組 む組織文化の醸成	① 組織アイデンティティ・ロイヤリティの確立 ③ 成功を認め、讃える組織文化の形成 ② 法人に関する情報の発信・共有による経営参画意識の向上支援	В	В	В	В	В	
3	医療制度等の変化への 迅速・柔軟な対応と自立 した財務運営	<ol> <li>経常収支比率を高い水準で維持</li> <li>内部留保を確保</li> </ol>	С	С	С	Α	А	

	① 以间的柱置于从00年八
4 奈良県立病院機構改革 プランを着実に実行	② 事業規模・事業形態の見直
	③ 経費削減・抑制対策の実施

- ① 民間的経営手法の導入 ② 事業規模・事業形態の見直し
  - ④ 収入増加・確保対策の実施 S ⑤ 経営改善に関する他の取組実施 Α ⑥ 再編・ネットワーク化の検討

 $A \mid A \mid A \mid A$ 

Α

Α Α

Α Α

вввв

Α

Α

Α

Α

Α

В

В

В

В

S

В

ハイリスク妊婦及び新生児の県内搬送率が高水準の <u>維持</u>(妊婦②97.6%→③97.1%、新生②99.3%→③<u>99.3%</u>)

リハ)在宅復帰率が上昇(2988.6%→3090.1%) 重動器リハ実施件数が増加(②82,564件→③)86,309件)

紹介率・逆紹介率は、<u>総合は維持・上昇</u>、西和は<u>上昇</u> (紹介率:総合②60.2%→③)<mark>73.3%</mark>、西和②58.7%→③)<mark>71.6%</mark>) (逆紹介率:総合29105.1%→3090.0%、西和2982.7%→30103.2%) 艮院調整会議の開催回数は増加(翌5,368回→307,474回)

県内医療機関の医療従事者向け研修を継続実施

・災害訓練を実施(劉総合3回、西和3回、リハ2回) ·DMAT隊員は目標を上回る配置(3033人(目標20人))

県民向け公開講座回数(8回)は目標(6回)を上回る

(西和)在宅療養支援室を運用

マイ健康カードの導入は具体的な検討に至らず

患者満足度「<u>患者の気持ちを理解しようとしたか</u>」が <u>高水準を維持(入院物91%→物94%、外来物79%→物82%)</u> ・職員満足度「<u>仕事のやりがい</u>」「<u>WLB配慮</u>」が 目標未達成

(仕事やりがい30目標:90%以上→30実績:53%、 WLB30目標:90%以上→30実績:57%)

専門医数、認定看護師数が増加 (後期研修医2931人→3034人、専門医29137人→30219人)

3病院合同会議(10部門)、病院毎の幹部会議等を開催 県主催の運営検討会議を通じ、経営分析・戦略を検討・議論

職員の中期目標・中期計画の目標未達成 (30目標:100%を目指す→30実績:60%)

経常収支比率が目標達成 (総合30目標 <u>79.2%</u>→30実績 <u>97.0%</u>) (西和30目標<u>100.3%</u>→30実績<u>101.7%</u>) (リハ 30目標 97.9%→30実績 97.9%)

·経常収支比率が<u>目標達成</u>(⑩目標:86.1%→⑩実績:<u>98.1%</u>) ・(総合)医薬品の価格交渉を行い<u>薬品比率増加を抑制</u>

(リハ)適正な診療報酬の請求、未収金発生防止及び回収強化、等